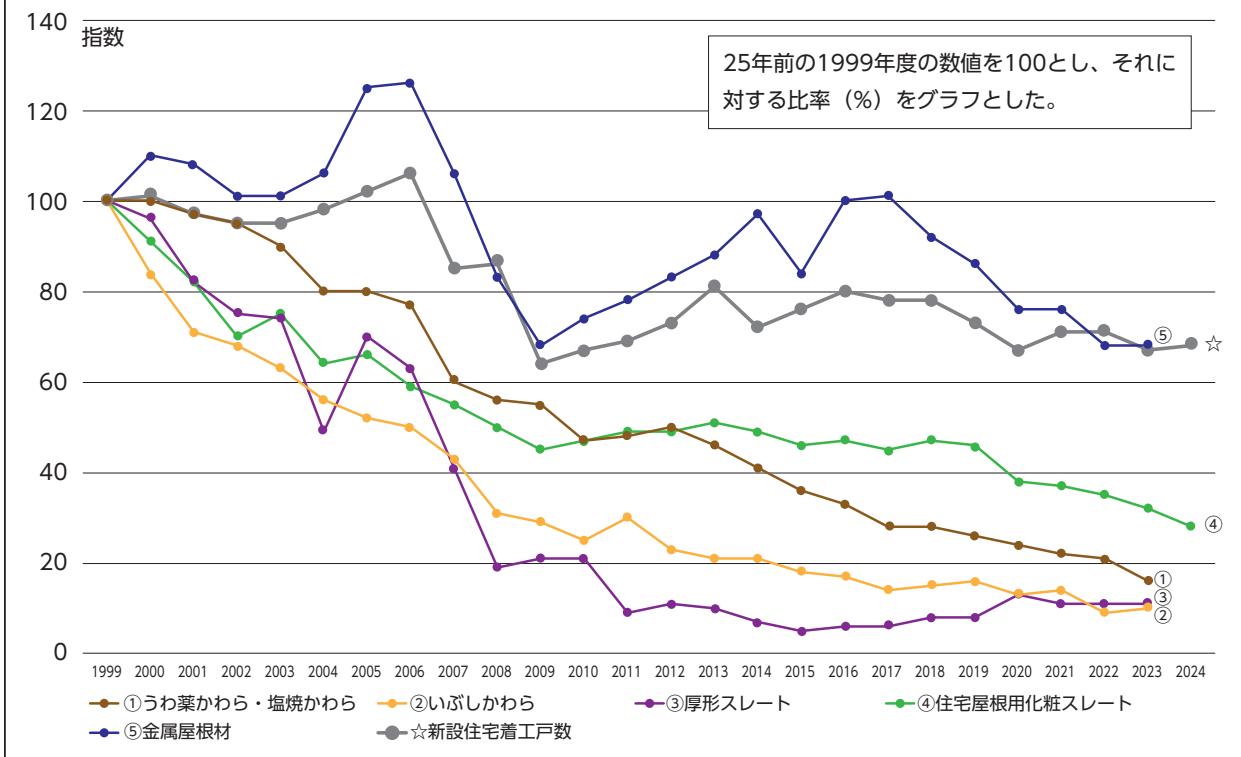
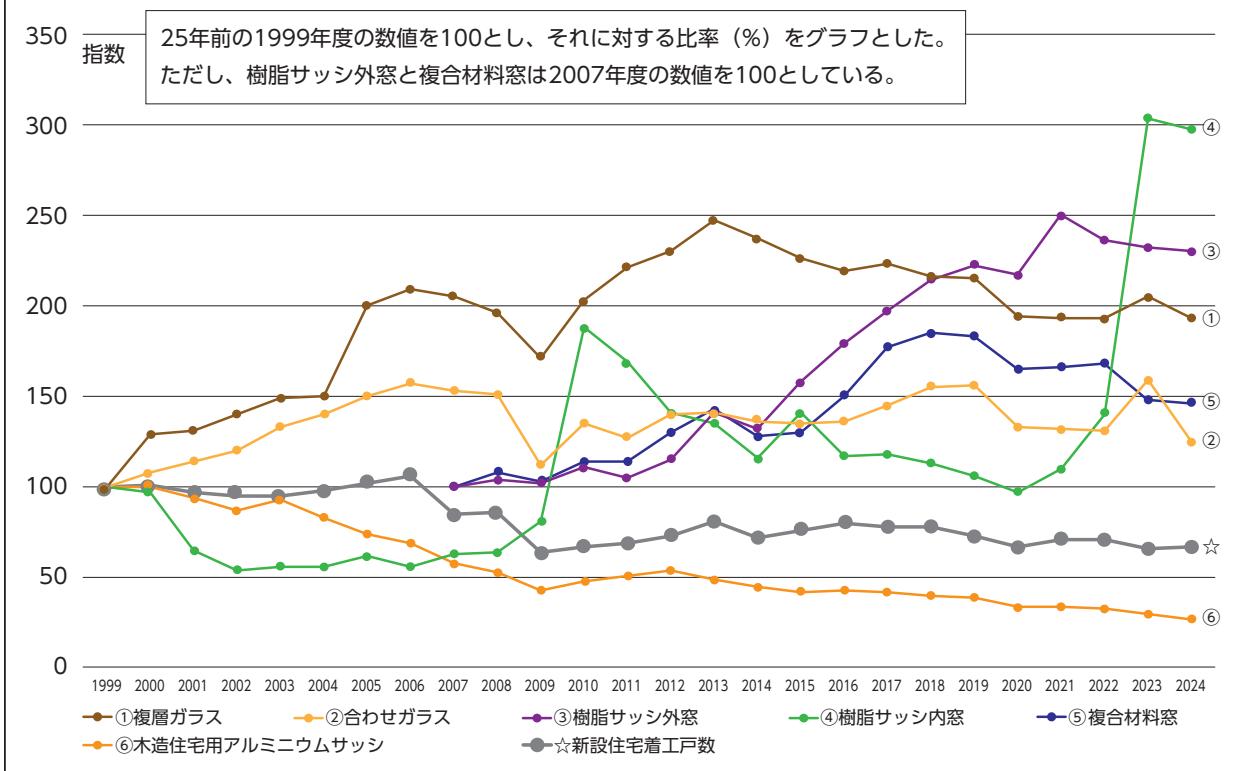


主要な屋根材 25年間の生産/出荷量の変遷



主要な開口部材 25年間の生産/出荷量の変遷



窯業建材の例

VSボード



VSボード(火山性ガラス質複層板:JIS A 5440)は、白土・シラス等の火山性ガラス質材料にフライアッシュを混和したものをロックウールやグラスウールで強化した建材用のボード。不燃性や耐久性、軽量性、加工性などの特徴をもち、木造住宅の外壁下地材に利用される他、内壁材・床材・天井材・型枠材等に使用。

火山性ガラス質材料工業会
データ掲載 P.32

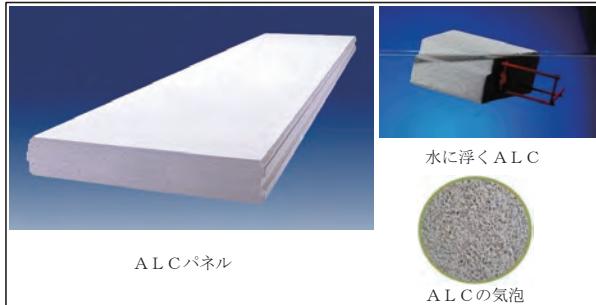
窯業系サイディング



窯業系サイディングは新築住宅の約8割で採用されている板状の外壁材であり、日本産業規格 JIS A 5422として規定されている。セメント原料、繊維質原料および混和剤からなる混合原料を成型、養生、硬化した製品で、防耐火性に優れ、強くしなやかで、色・柄の品揃えが豊富なことから、最近では住宅のみならず、介護・文教・商業施設等の非住宅物件の外壁材としても採用が進んでいる。

日本窯業外装材協会
データ掲載 P.35

気泡コンクリート製品(ALC)



ALCパネルは無数の気泡を閉じ込めた多孔質のコンクリート製品。軽量で耐火性・断熱性に優れる。鉄骨造、鉄筋コンクリート造、木造等、多くの構造や用途の外壁、間仕切、屋根、床等に使用される。ALCはAutoclaved Lightweight aerated Concrete(高温高压蒸気養生された軽量気泡コンクリート)の略。

ALC協会
データ掲載 P.37

セメント



セメントとは、コンクリート(一般的にセメントに水と骨材(砂利や砂)等を混合して硬化したもの)を作るための材料の一つで、その殆どがコンクリートとして使われており、「ポルトランドセメント」、「混合セメント」、「特殊なセメント」に大別され、使用する対象(構造物)や施工方法、施工条件等に適したものを選定する。

セメント協会
データ掲載 P.39、P.40

エコガラスS(Low-E複層ガラス)



Low-E複層ガラスは2枚のガラスで構成され、ガラスの内側には熱の伝わりを抑える特殊な金属膜「Low-E膜」がコーティングされている。なかでも「エコガラスS」というグレードの製品は、ガラス間の中空層にArガスまたはKrガスを封入して断熱性能と遮熱性能を極めた窓ガラスである。ガラスが3枚の三層構造タイプもある。

板硝子協会
データ掲載 P.39

建築用GRC工業製品



GRCとは、セメントまたはセメントモルタルを耐アルカリガラス繊維で補強した、ガラス繊維補強セメントの略称で、引張強度及び韌性に劣る無機質セメントを、引張強度に優れたガラス繊維で補った複合材料を使用した製品であり、用途は建築(内外装)・土木や景観材料(モニュメント・擬岩等)と幅広い。

日本GRC工業会
データ掲載 P.41

普通合板 Plywood			コンクリート 型枠用合板 Plywood for concrete framework	構造用合板 Plywood for housing structure
西暦(YEAR)	生産量(千m ³) (対前年比%)	出荷金額(百万円) (対前年比%)	生産量(千m ³) (対前年比%)	生産量(千m ³) (対前年比%)
2015	2,756(98.0)	220,218(109.4)	50(151.5)	2,386(97.8)
2016	3,063(111.1)	214,467(97.4)	31(62.0)	2,801(117.4)
2017	3,287(107.3)	243,076(113.3)	31(100.0)	2,939(104.9)
2018	3,298(100.3)	241,368(99.3)	50(161.3)	2,883(98.1)
2019	3,324(100.8)	242,587(100.5)	47(94.0)	2,955(102.5)
2020	2,999(90.2)	218,966(90.3)	34(72.3)	2,670(90.4)
2021	3,172(105.8)	260,290(118.9)	40(117.6)	2,876(107.7)
2022	3,059(96.4)	352,115(135.3)	31(77.5)	2,659(92.5)
2023	2,532(82.8)	279,742(79.4)	23(73.1)	2,239(84.2)
2024	2,508(99.1)	—	25(111.1)	2,239(100.0)

生産量：農林水産省「合板統計」 出荷金額：経済産業省「経済構造実態調査」

注) コンクリート型枠用合板および構造用合板は、普通合板の内数に含まれる。

普通合板の厚さ別生産量 Plywood					
西暦(YEAR)	生産量(千m ³) (対前年比%)	6mm未満(千m ³) (構成比%)	6～12mm(千m ³) (構成比%)	12～24mm(千m ³) (構成比%)	24mm以上(千m ³) (構成比%)
2015	2,756(98.0)	58(2.1)	332(12.0)	1,355(49.2)	1,011(36.7)
2016	3,063(111.1)	58(1.9)	406(13.3)	1,457(47.6)	1,141(37.3)
2017	3,287(107.3)	77(2.3)	443(13.5)	1,513(46.0)	1,254(38.2)
2018	3,298(100.3)	70(2.1)	458(13.9)	1,535(46.5)	1,235(37.4)
2019	3,324(100.8)	54(1.6)	488(14.7)	1,556(46.8)	1,226(36.9)
2020	2,999(90.2)	49(1.6)	462(15.4)	1,341(44.7)	1,147(38.2)
2021	3,172(105.8)	38(1.2)	531(16.7)	1,399(44.1)	1,204(38.0)
2022	2,983(94.1)	29(1.0)	465(15.6)	1,296(43.4)	1,193(40.0)
2023	2,532(84.9)	29(1.1)	405(16.0)	1,097(43.3)	1,001(39.5)
2024	2,506(99.0)	34(1.4)	393(15.7)	1,120(44.7)	959(38.3)

生産量：農林水産省「合板統計」

注) 2015年から厚さ区分を「6mm未満」「6～12mm未満」「12～24mm未満」及び「24mm以上」に変更した。

特殊合板 Special plywood		
西暦(YEAR)	生産量(千m ³) (対前年比%)	出荷金額(百万円) (対前年比%)
2015	524(89.7)	109,722(120.1)
2016	642(122.5)	88,322(80.5)
2017	623(97.0)	100,924(114.3)
2018	580(93.1)	106,721(105.7)
2019	563(97.1)	107,958(101.2)
2020	488(86.7)	92,150(85.4)
2021	558(114.3)	105,765(114.8)
2022	580(103.9)	123,633(116.9)
2023	519(89.5)	83,454(67.5)
2024	487(93.8)	—

生産量：農林水産省「合板統計」

出荷金額：経済産業省「経済構造実態調査」

輸入合板 Imported plywood		
西暦(YEAR)	輸入量(千m ³) (対前年比%)	輸入額(百万円) (対前年比%)
2015	2,274(80.0)	158,300(88.4)
2016	2,156(94.8)	122,600(77.4)
2017	2,242(104.0)	128,500(104.8)
2018	2,275(101.5)	152,000(118.3)
2019	1,916(84.2)	120,100(79.0)
2020	1,660(86.6)	92,400(76.9)
2021	1,865(112.3)	122,000(132.0)
2022	1,948(104.5)	193,800(158.9)
2023	1,402(72.0)	118,200(61.0)
2024	1,495(106.6)	121,900(103.1)

林野庁「木材輸入実績」

輸入統計品目表第4412.10号 111～299、
第4412.31号、第4412.33号、第4412.34号、第4412.39号の合計。